

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

平成 26 年度事業分

平成 27 年 7 月作成

伯耆町教育委員会

目 次

○はじめに	1
○教育委員会の活動状況	2
○点検と評価の方法	6
○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート	9

■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が平成 26 年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

○伯耆町教育委員会委員名簿(平成27年4月1日現在)

委員長	伊 藤 浩
委員長職務代理	仲 倉 玄 雄
委 員	田 中 榮美子
委 員	大 木 寿 之
委 員(教育長)	後 藤 弥

○教育委員会の組織図



■教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4月 9日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	3月定例議会提出案件等の結果について
		議事	平成26年4月1日付け伯耆町教育委員会事務局職員の人事異動及び非常勤特別職員の任命の専決処理について
		議事	公民館運営審議会委員の委嘱について
		議事	学校運営協議会を設置する学校の指定について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
4月 28日	臨時会	議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		議事	学校関係者評価委員の委嘱について
		議事	学校評議員の委嘱について
		その他	町内小学校運動会について
		その他	西部町村教育委員会連絡協議会総会について
		その他	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律案の概要について
6月 3日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	平成26年5月28日付け溝口小学校運営協議会委員の任命の専決処理について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	平成26年度教育委員会関係補正予算の原案について
		協議	「伯耆町小学校統合の今後の進め方について」の議会提出について
		協議	WindowsXP等のサポート期間の終了に伴う小中学校の対応について
		協議	伯耆町における学校選択制度案について
		その他	学校計画訪問について
		その他	西部町村教育連携推進第1回研修会について
		その他	事務連絡
7月 22日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	6月定例議会等提出案件の結果について
		報告	小学校統合の進め方住民検討会の状況について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	学校給食費の額の変更について
		その他	沖縄県読谷村訪問について
		その他	事務連絡

8月15日	定例会	議事	平成27年度に使用する小学校教科図書の採択について
		議事	特別支援教育就学奨励金の支給の認定について
		その他	事務連絡
9月2日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	全国学力学習状況の結果について
		報告	標準学力調査の結果について
		報告	全国等中学校総体の結果について
		報告	小学校統合の進め方住民検討会(仮称)の進捗について
		議事	校区外就学について
		協議	平成26年度教育委員会関係補正予算(第2号)の原案について
		協議	平成25年度教育委員会関係予算の決算の原案について
		協議	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
		協議	伯耆町いじめ防止基本方針について
		その他	沖縄県読谷村訪問日程について
		その他	鳥取県青少年健全育成条例に基づく青少年健全育成協力員の推薦について
		その他	事務連絡
10月14日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	9月定例議会提出案件等の結果について
		議事	平成26年10月1日付け伯耆町教育委員会事務局職員の人事異動の専決処理について
		議事	伯耆町いじめ防止基本方針の制定について
		その他	沖縄県読谷村訪問について
		その他	町長との意見交換会について
		その他	小学校統合に関する住民検討会について
		その他	事務連絡
11月11日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	小学校統合の進め方住民検討会の状況について開催状況について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	校区外就学の取り扱いについて
		その他	事務連絡
11月28日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	町制10周年特別功労表彰候補者について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について

		議事	スポーツ推進審議会委員の任命について
		協議	平成26年度教育委員会関係補正予算(第4号)について
		協議	小学校統合に関する住民検討会の検討状況について
		その他	平成27年度伯耆町教育に関する要望書について(PTA協議会)
		その他	平成27年度当初予算編成に係る要望書について(校長会)
		その他	事務連絡
1月9日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	12月定例町議会の教育委員会関係提出案件等の結果について
		報告	平成27年度特別支援教育に係る児童生徒の就学について
		議事	溝口地域新しい学校創り準備協議会(仮称)の設置について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	町民音楽祭への学校不参加についての結果
		その他	第2回西部町村教育行政広域連携推進研修会の開催について
		その他	その他
2月17日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	溝口地域新しい学校創り準備協議会の協議状況について
		報告	第13回伯耆町小学校統合に関する調査特別委員会の協議状況について
		報告	西伯南ライオンズクラブからの図書券の寄附及び各学校への図書券の配分について
		議事	教育委員長の選挙及び教育委員長職務代理者の指定について
		議事	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整理等に関する規則の制定について
		議事	伯耆町図書館規則の一部改正について
		議事	学校医の解任及び任命について
		協議	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の改正原案について
		協議	伯耆町図書館条例の一部改正について
		協議	平成26年度教育委員会関係補正予算(第6号)の原案について
		協議	平成27年度教育委員会関係当初予算の原案について
		協議	平成27年度伯耆町教育に関する要望書の回答について
		その他	平成26年度伯耆町教育委員会表彰について
		その他	平成26年度小中学校卒業式と平成27年度小中学校入学式について
		その他	熱中症対策に関する提案について
		その他	その他
3月10日	臨時会	議事	平成27年度伯耆町立小中学校の教職員の人事異動内申について
		その他	3月定例町議会一般質問について
		その他	事務連絡

3月24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	社会教育委員の委嘱について
		議事	図書館協議会委員の任命について
		議事	公民館運営審議会委員の委嘱について
		議事	文化財保護審議会委員の任命について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	スポーツ推進委員の委嘱について
		協議	平成27年度伯耆町学校教育基本方針について
		その他	事務連絡

開催回数		13
案件数	報告件数	35
	議案件数	33
	協議件数	17
	その他件数	30
	合計	115

2. 教育委員会関係会議・事業等

(1) 教育委員研修会・会議

- 市町村教育委員会研究協議会
- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会・研修会
- 西部町村教育広域連携事業推進研修会

(2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 教職員着任式・離任式
- 学校自己評価意見交換会（2回）

(3) その他

- 町長・副町長との意見交換会

平成 26 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

□点検と評価の方法

平成 26 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ審議会委員、学校支援地域本部地域教育協議会委員及び教育委員に意見等を求めた。

□点検・評価対象事業

伯耆町教育振興計画の事業展開方針に基づき、26年度に取り組んだ事業を対象とする。

1. 学校教育関係事業基本方針「社会の一員として自立して生きてゆく児童生徒の育成」

(1) 学校・家庭・地域の連携

①教育の原点である家庭教育力の向上

- ・家庭と学校の連携強化
- ・家庭学習の手引の活用推進及び利活用方法の周知徹底
- ・生涯学習事業や子育て対策事業との連携 など

②地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組みづくり

- ・学校支援地域本部事業
- ・コミュニティ・スクール推進事業
- ・スクールガードリーダー事業
- ・青少年育成伯耆町民会議との連携 など

(2) 保・小・中の滑らかな接続

①一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の改善

- ・幼保小接続推進事業
- ・小中学校教員・児童生徒の交流
- ・中学校教員の小学校への派遣
- ・定期的情報交換会の実施 など

(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

①確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ・学力向上施策の推進
- ・人権・道徳、食育、体験学習、郷土学習など人間力育成教育の推進
- ・スポーツの啓発
- ・ALTの配置
- ・学力調査の実施 など

②発達段階に応じた、きめ細やかな指導体制の充実

- ・特別支援学級及び就学支援体制充実
- ・学校運営の改善支援
- ・学習支援員の配置
- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー配置 など

(4) 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備

①教員の資質向上と一人一人の子供に教員が向き合うための環境整備

- ・教職員研修の充実
 - ・専門家の活用などによる小中学校への的確な指導助言の実施
 - ・少人数学級の継続
 - ・学習支援員の配置
 - ・学校図書館職員の配置 など
- ②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備
- ・学校施設整備
 - ・学校配置方針の決定
 - ・学校事務共同処理 など

2. 社会教育関係事業基本方針 「学び続けるための基盤づくり」

(1) 生涯を通じて学ぶための環境の整備

①生涯学習の推進

- ・社会教育施設の改修・修繕と空公共施設の有効活用
- ・公民館を核とした住民活動の支援と関係課との連携
- ・生涯学習情報の積極的な発信
- ・公民館活動のさらなる充実と参加者の増
- ・地域指導者の発掘
- ・図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・成人団体の育成 など

②生涯スポーツの推進

- ・関係課と連携した健康事業の推進
- ・スポーツ関係団体の育成及び活動支援
- ・体育施設の維持修繕及び利用促進
- ・各種スポーツ大会の実施 など

(2) 町全体で取り組む青少年の健全育成

①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備

- ・青少年育成伯耆町民会議、こども会育成連絡協議会等関係団体の活動支援
- ・PTA協議会等との連携強化と活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・地域指導者の発掘 など

②家庭教育の充実

- ・「共育」環境づくり
- ・放課後子ども教室の設置
- ・スクールガードリーダーの配置
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催 など

(3) 人権尊重のまちづくりの推進

①人権教育・人権啓発の推進

- ・明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・相談業務の拡充
- ・個別計画に基づく事業の推進 など

(4) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

①文化財の保存と活用

- ・文化財調査及び文化財保護
- ・文化財教室等の開催

- ・郷土学習の支援
- ・情報発信、周知活動の充実 など
- ②地域芸術文化の振興
 - ・伝統行事や地域文化活動の開催等支援
 - ・文化施設の維持修繕及び利用促進
 - ・芸術文化活動の発表の場づくり
 - ・芸術文化団体・人材の活動支援と活動の周知 など

2. 評価方法

(1) 評価記号の説明

評価記号	説明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業
●	・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

(2) 評価基準

「(1) 評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかった」	30%以上 50%未満
「実施しなかった」	30%未満

(3) 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかったかどうか

平成 26 年度事業 伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針等	
1-(1) 学校・家庭・地域の連携	① 教育の原点である家庭教育力の向上	1	伯耆町教育振興会事業 ・地域教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	地域教育部 ・家庭教育の現状と課題を調査し、必要な事業を検討することができた。 ・土曜事業等についての内容の改善	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		2	家庭学習の手引き配布事業	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について、解説した「家庭学習の手引き」を小学校新入学生に配布する。	・家庭での学習や生活習慣について望ましい姿を示す指標としての役割を果たした。 ・家庭学習の手引きの内容の見直し	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組みづくり	3	学校運営協議会運営事業	総務学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。	・岸本小、八郷小、溝口小に加えて、溝口中も学校運営協議会を設置する予定となっている。部会としての活動が充実してきており、委員が学校運営に参画している意識が高まっている。 ・学校経営方針についてより活発な議論ができるように、情報をかみ砕いて説明し、議題を具体化および焦点化すること。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		4	学校支援地域本部事業	生涯学習	地域住民が教育に関心を持ち、学校の教育活動に関わることで、子供たちに多様な体験と交流の機会を提供し、確かな学力と人間力を向上させる。大人にとっても、新しい仲間づくり、生きがいづくりなど、地域の絆づくりに繋げる。	①支援実績 学習支援 320件 環境整備 93件 学校行事 26件 ②会議 地域教育協議会 1回 実行委員会 4回 コーディネーター定例会 9回 ③研修 6月20日 学校支援ボランティア研修会 2月17日 「地域による学校支援」に関する研修会 3月5.6日 地域力を高めるボランティアセミナー ④視察受入れ 10月16日 北栄町教育委員会 11月25日 高知県越智町教育委員会 ⑤学校支援活動成果報告・交流会(2月7日) ・ボランティアの活性化のため、人材発掘が必要。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		5	子供の体験活動事業	岸本公民館	夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供することができた。事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。	<p>・公民館教室の協力事業では、10回の開催で延べ54名の参加があった。・岸本公民館の主催事業は、5回の開催で延べ55名の参加があった。・岸本中学校の創作部員7名が、協力してくれた。</p> <p>・この事業は、参加者がいない事業でも継続して実施したい。依然として、指導者や支援者が少ないため事業によっては、開催時期等を検討する必要がある。(例:他の事業との関連、時間内に完成しない事業など)</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				溝口公民館		<p>・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々に協力していただき、世代間交流の推進を一層促進した。夏季休業中に8事業、冬季休業中に2事業、新たに課業中の土曜日に3事業実施し、前年を上回る延べ133名の子どもたちが有意義なひと時を過ごした。</p> <p>・事業により参加者の増減があった。子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしながら、是非子ども達に体験してもらいたい日本の伝統的文化など(お茶・生け花・書道・料理等)は継続発展させて取り組んでいきたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				二部公民館		<p>・学校・地域・公民館教室の連携をもとに、自然体験、ものづくり活動などの体験をとおして10回延べ215名参加があり、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。土曜事業を学期ごとに一回開催することができた。</p> <p>・二部地区活性化推進機構と連携できる事業の取り組み、「森のようちえん」「だんだんプロジェクト」という子どもたちを抱えている団体との交流を進めていきたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・春の山菜観賞、山菜試食会、絵画教室、ふれあい参観日、正月の作品作り、しめ縄作り等日光小とのふれあい活動等9回。 ・世代間ふれあいセミナー：学校統合により27年度が日光小最後の活動となる。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		6	子供の体験活動事業	総務学事	各学校で独自の取組みを行っているほか、学校支援地域本部事業と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施している。	主な活動 ○作物・米・花の栽培 ○森林体験 ○地域の地理・生活文化等の学習 ○山菜取り ○スキー教室など ・授業や学校行事として行うには限度がある。土曜・休日や放課後における社会教育部門の取組みを充実させる施策が必要。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		7	家庭教育支援事業	生涯学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、小学校の新入学保護者等を対象にした講演会、研修会を支援（二部小、八郷小、岸本小、あさひ保） ・家庭教育講演会の開催 9月20日、参加者70名 3月1日、参加者200名 ・保育所保護者会、小中学校PTAとの連携を深めながら進めていく必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(2) 保・小・中の滑らかな接続	① 一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の改善	8	授業改革ス テップアップ事業	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	保小中一貫教育部 ・昨年度までの研究成果をもとに、各中学校区で重点目標を設定し、連絡協議会や共同研究会を開催して取り組むことができた。 ・中学校区ごとの共同研究組織の確立	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針等	
		9	伯耆町教育振興会事業 ・研究推進	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図った。	<p>一貫カリキュラム作成プロジェクトチーム</p> <p>・保小中一貫カリキュラム作成のための年次計画や基本文書の作成をすることができた。</p> <p>・現場、教職員の負担軽減を図ること。</p>	◎ 新規事業目標達成90%以上
		10	伯耆町教育振興会事業 ・就学支援	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<p>就学支援部</p> <p>・保小中の交流活動の実施</p> <p>・子どもたちの交流の促進だけではなく、教職員も情報交換などで交流を深めることができた。</p> <p>・「個別の支援計画」運用に関する話し合いができた。</p> <p>・教職員の研修をさらに充実させること。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育	11	確かな学力定着促進事業	総務学事	町教育の振興を図るため、教員の教師力向上や学校運営開発等の研修を行う。また、各学校の授業改革のための研修と夏期学力補充教室、家庭教育講演会等を行い、児童生徒の学力定着と保護者への家庭教育の大切さに関する意識づけを行う。	<p>・各校の研究内容に合わせ、大学教授等をスーパーバイザーとして、定期的に授業研究会等を開催したり、学力補充教室を開催し、確かな学力定着に向けた取り組みを実施した。</p> <p>・研究成果を日常化する体制をつくること。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		12	全国学力・学習状況調査事業	総務学事	全国学力・学習状況調査の抽出校以外の学校においても、調査を実施することで、全国・県データとの比較検証を行い、児童生徒の学習指導の改善を図る。	<p>・教育委員会事務局および各学校で調査結果を分析することで、指導の成果と個々のつまずき等を確認した。</p> <p>・調査結果の分析から得られた改善策を継続して実践すること。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		13	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	総務学事	各学校における教材・教具・備品の整備を行うことで、多様化する教育に対応する。	<p>・昨年度に引き続き、各学校の教材・教具・備品を整備した。</p> <p>・町の公会計化に伴い台帳整理について協議を要する。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		14	外国青年招致事業	総務学事	岸本中学校と溝口中学校にALTを1名ずつ配置し、生徒の英語能力の向上に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校にALTを配置して英語活動を支援するとともに、中学校区の小学校にも定期的に派遣し、国際理解教育を支援。また、公民館の英会話教室で講師を行う等、地域における国際理解の啓発にも寄与。 ALT業務委託の検討 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		15	学校統合準備事業	総務学事	町内児童・生徒の少子化の進行に対し、学級の人数等について適正な規模が維持を目的とし、各小学校区の代表者と協議をして、統合の方向を明らかにする。	<ul style="list-style-type: none"> 岸本地区、溝口地区の両地区で住民検討会を立ち上げ、岸本地区ではH28年度に再検討、溝口地区では溝口小・日光小2校での準備協議会設立を決定した。 溝口地区の新小学校の円滑な開校。 	◎	新規事業目標達成90%以上
		16	運動部活動推進事業	総務学事	地域の専門的指導者を部活動指導に派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上、地域との連携の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 岸本中：陸上部 溝口中：軟式野球部、柔道部 運動部活動地域連携再構築事業により県教委の委嘱を受けた外部指導者3名の派遣を受け、各中学校で専門的指導等を実施した。 継続的な指導ができなかった部門があった。 	△	継続事業ほぼ達成70%以上又は新規事業達成不十分50%以上
		17	特別非常勤講師配置事業	総務学事	地域の専門的知識を有する者を県教委に内申し、特別非常勤講師として配置してもらい総合的な学習の一部やクラブ活動を担当させることで、学校教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 岸本小学校(5名)、八郷小学校(2名)、溝口小学校(2名)、二部小学校(4名)の推薦を受けて内申・配置し、学校教育の充実を図った。 県教委の予算枠内での制限があるため、町外の学校の希望も多く、学校が希望する指導時間を確保するのは困難。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		18	伯耆町教育振興会事業・人権教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育部 人権教育主任会を開催し、県教委人権教育課の指導主事を呼んで研修をすることができた。 人権教育全体計画と年間指導計画の整合性。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		19	人権教育の推進	総務学事	教職員を対象に人権教育研修会等を開催し、児童・生徒への伯耆町の実態に照らした人権教育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・伯耆町転入教職員研修会 8/1 20名参加 ・伯耆町人権教育研究大会 10/8 岸本小学校 全町での研究大会が2年目となり、内容が充実してきた。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		20	青雲寮管理運営事業	生涯学習	溝口中学校生徒の冬期間の寮として使用していた青雲寮を、町内社会体育団体の合宿や通学合宿に利用するとともに、適切な施設の維持管理及び運用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内スポーツ団体及びPTAの合宿、通学合宿事業の場として活用した。 ・窓の網戸の修繕、玄関扉の鍵の修繕を行った。 ・今後も小修繕を行い、施設の維持管理を実施する。 ・施設の位置、機能に配慮しながら、有効活用の方法を検討する必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		21	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健部 ・食育についての啓発を行うとともに、給食におけるアレルギー対応の共通理解を図ることができた。 ・保育所・学校で食育に関する共通の取組を継続すること。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		22	栄養教諭による食指導	給食センター	学校栄養職員(臨時)1名での栄養指導、また学校給食を通じて食育指導を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べてもらうことで、食育の推進を図った。また、各学校と連携を図り、生産者やセンター職員と児童との交流給食を実施し、生産者との交流、食材に対する感謝の気持ちが育まれた。食育の日や給食週間を中心に交流給食を年12回実施。 ・栄養士1名になった場合の十分な食育、栄養指導等への対応の検討が必要。 	△	継続事業ほぼ達成70%以上又は新規事業達成不十分50%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		23	学校給食施設管理運営事業	給食センター	安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行った。また、老朽化・損傷した備品について、更新を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種細菌等検査の実施 ・清掃・衛生の徹底 など ・冷凍庫、二重保温食缶など老朽備品の更新 ・給食車更新 ・年間給食配数 182,944食 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		24	学校給食費補助事業	給食センター	給食費の保護者負担を軽減するため、これまで1食につき30円の補助を50円に増額する。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担の軽減と安定的な給食の供給が図られた。補助額7,587,600円 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		25	食材供給連絡協議会との連携	給食センター	伯耆町内の農業生産者で構成する、組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会との調整会議を月1回開催 ・伯耆町産使用率51.2%(前年度57.1%) ・町内産のみで賄っている主な食材 米、味噌、干し椎茸、梨、メロン、わらび 	△	継続事業ほぼ達成70%以上又は新規事業達成不十分50%以上
		26	スクールソーシャルワーカー活用事業	総務学事	いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士資格者2名と教員OB1名をSSWとして配置。学校・関係機関と連携・情報共有し、問題を抱える児童生徒の支援を行った。 ・対象事案 小学生35名、中学生33名 ・ケース会議 教職員：12回、関係機関含む：25回 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 発達段階に応じた、きめ細やかな指導体制の充実					<ul style="list-style-type: none"> ・SSWとSC, 教職員の連携 ・SSWと関係機関との連携 		

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		27	特別支援教育支援員配置事業	総務学事	特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対する学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・岸本小学校(3名)、八郷小学校(1名)、溝口小学校(4名)、溝口中学校(1名)に配置した。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		28	教育支援センター運営事業	総務学事	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行った。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・通級生徒 中学生1名 ・学習指導員1名、相談員3名配置 ・定例会を開催し情報共有を図った。 ・該当生徒中学校、保護者との連携を図った。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		29	少人数学級実施事業	総務学事	小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。 また、二部小学校については、教員の加配により複式学級を一部解消。	<ul style="list-style-type: none"> ・岸本中学校 1年(2→3学級)、2年(2→3学級)、3年(2→3学級) ・溝口中学校 2年(1→2学級)、3年(1→2学級) ・岸本小学校 4年(1→2学級) ・二部小学校 5・6年(複式解消) 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		30	就学援助事業(要保護、準要保護)	総務学事	生活保護、生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度認定:96名(55世帯) ※昨年に引き続き、母子家庭の申請が半数以上を占める(34/55)。 ※区域外就学者の申請は、町外からの越境1世帯1名、町外への越境1世帯2名。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護法の改正を考慮するとともに社会情勢を考慮し、認定基準を据え置く。 ・マイナンバー制度の施行に伴う業務の見直しが必要。 		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針等	
		31	就学援助事業 (特別支援教育 就学奨励金)	総務 学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	平成26年度認定:13名(13世帯) ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。 ※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。 ----- ・マイナンバー制度の施行に伴う業務の見直しが必要。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		32	中学校区の児童生徒を語る会	総務 学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行った。	○中学校区児童生徒を語る会 小中学校担当教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、指導主事等が参加 ・岸本中学校区 各学期2回 ・溝口中学校区 各学期1回 ----- ・小中の日常の情報共有の連携方法への発展を検討。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		33	就学支援検討会	総務 学事	小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適應などの2次障害を防止する。	①5歳児健診での観察及び相談 ②関係機関による連絡会議の実施 ③対象児の観察会 ④個別の就学支援検討会の実施 ※27件の事案について対応・支援 ----- ・「個別の支援計画」の活用の充実	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(4) 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備	① 教員の資質向上と一人一人の子供に教員が向き合うための環境の整備	34	学校評価研修会	総務 学事	学校運営の一層の充実・改善を図るため、学校管理職等の教職員、学校関係者評価委員、学校運営協議会委員を対象に研修を実施する。	・各学校の学校評価を活用して学校を活性化する方法について共通理解し、学校運営への参画意識を高めることができた。 ----- ・管理職として明確にビジョンをもち、学校経営に必要なスキルをさらに高めること。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		35	学校図書整備及び図書館司書配置	総務学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や子供たちの読書活動推進に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館職員として臨時的任用職員を配置し、学校図書館運営・管理、児童の調べ学習支援などを行った。 ・司書教諭と図書館職員の共通理解の場を定期的に設けること。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		36	教職員研修会(全教職員対象)	総務学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教職員の資質向上を図るため、本町独自の研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の悉皆研修として下記を実施した。 ・町教育振興会研究大会 7/29 農改センター 峯本耕治 弁護士 ・教師力向上研修会 1/6 溝口公民館 安藤福光 教授 ・参加者の充実感を高める研修内容にすること。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		37	学校要請訪問、学校随時訪問	総務学事	各学校の校内授業研究会での指導助言や授業参観・授業評価及び学校長への指導助言を目的として学校訪問を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究会指導助言(各校の研究課題の指導助言、教職員の指導方法の改善に寄与) ・学校随時訪問(各校の授業力向上及び学校運営の活性化に寄与) ・日程調整をして、均等に学校を訪問すること。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		38	伯耆町教育振興会事業・生徒指導	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導部 ・長期休業中の申し合わせ事項について共通理解を図り、LINE等のトラブルについての研修を行うことができた。 ・「SSW活用ガイドブック」を活用した研修会の実施。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		39	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	総務学事	各学校の運営状況及び授業実践の把握を行うため、各種訪問を行い、各校の課題改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ①学校計画訪問 各小中学校1回 ②行事訪問 運動会、学習発表会、入学式、卒業式等参加・参列 ③講師訪問・本務者訪問 ・学校に過剰な負担とならない日程調整。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
② 安全安心で 質の高い教育を支える教育環境の整備		40	小学校施設修繕事業	総務学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備した。	<p>損傷・老朽化した施設の修繕を行った。</p> <p>【主な施設修繕】 八郷小: 体育館腰下サッシ修繕等 溝口小: 遊具修繕・プール電源修繕等 二部小: 鉄棒修繕・プールトイレ修繕等 日光小: 体育館雨漏修繕等</p> <p>・設備関係の計画的な修繕の実施。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		41	中学校施設修繕事業	総務学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備した。	<p>・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。</p> <p>【主な施設修繕】 岸本中: 消防設備修繕等</p> <p>・設備関係の計画的な実施。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		42	中学校施設耐震化等事業	総務学事	岸本中学校体育館の改修工事、溝口中学校の校舎の耐震補強工事を行った。	<p>・岸本中の体育館改修工事完了 ・溝口中の校舎耐震補強等工事完了</p> <p>・H26年度事業完了</p>	◎	新規事業目標達成90%以上
		43	学校安全体制整備推進事業	総務学事	小学校において、実践的な事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためにスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行った。	<p>・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを配置。定期的に学校・通学路等の巡回・指導等を実施した。</p> <p>・学校統合による通学方法の変更に合わせて巡回・指導について検討を行う。</p> <p>・人材の確保と次世代の育成。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		44	伯耆町教育振興会事業 ・学校事務	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<p>学校事務部会 ・教材選定の振り返りシートを統一し、次年度への資料を作成することができた。</p> <p>・教材会計処理システムの導入を図ること。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
2-(1) 生涯を通じて 学ぶための 環境の整備	① 生涯学習の 推進	45	地区公民館と の連携	生涯 学習	地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習室と各公民館で定例会を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、業務の連携を図った。(毎月1回開催) 円滑な業務連携を行うことができた。学社連携に向け、公民館事業に反映できる情報の収集が必要。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		46	図書館管理事業	図書館	図書館関係部門の連携を強化するため、図書定例会(図書館長と図書館職員、生涯学習室職員が参加)を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習室と図書館、放送センター等で定例会を開催し、行事内容や業務内容の相互調整により、業務の円滑化と広報活動の充実を図った。(毎月1回開催) CATVでの図書館番組が終了したため、本の貸出以外の図書館事業についてのPR方法を検討する必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		47	図書館振興事業	図書館	利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、町づくり、人づくりの親しみやすく、かつ開放的な施設として、町民の方々にサービスを提供する。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> (1)子育て支援事業 ブックスタート事業・ブックセカンド事業・出前お話し会 (2)学校支援事業 団体貸出し及びほんの配送事業・土曜授業 出前お話し会・朝読書・職場体験受入れ (3)読書推進事業 こどもの読書週間事業 (4)連携事業 出前図書館・リサイクル市・図書館連絡会 (5)広報事業 とっておき本棚・図書つうしんの発行・HP掲載 (6)研修事業 図書館協会主催事業への参加等 町教振図書館教育部会への参加 【溝口図書館】 乳幼児おはなし会・あたまイキイキ音読教室 伊能図7巻購入記念講演会「伊能忠敬の歩いた道」 展示「郷土作家コレクション」 児童作家木村研講座 【岸本図書館】 会館3周年記念祝賀事業・夏休み電車工作教室 おはなしのもりスペシャル 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> 出前図書館では、会場での貸出ができるよう工夫が必要。図書館職員のスキルアップが必要。ボランティアの活用の検討が必要。 		

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		48	伯耆町教育振興会事業 ・図書館教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<p>図書館教育部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館の主導により、司書教諭および学校図書館職員の各種研修を行うことができた。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学び方指導」の体系表と「図書館活用学習年間計画」を更新すること。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		49	生涯学習まちづくり推進事業	生涯学習	生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談 ・ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月) ・伯耆町HPで生涯学習に関する催し物、情報提供 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の生涯学習に対するニーズと情報提供の方法が適当であるのか検討が必要である。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		50	鬼の館運営事業	生涯学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会の提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種保守点検を実施し、維持管理に努めた。 ・修繕工事として、電動式移動観覧席の修繕、屋根・外壁の修繕工事を実施した。 ・自衛消防訓練を実施した。(11月、3月) <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール、ホワイエの吊天井につき、安全確認のための点検が必要。 ・音響照明の保守点検業務につき、長期継続契約の検討が必要。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		51	青年の家管理事業	生涯学習	青年の家を維持・管理及び壁紙の張り替え等を行い、社会教育の場として提供することにより、社会教育の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館教室、放課後児童クラブの活動の場を提供した。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの場を除き、他の建物は老朽化しているため、施設管理においては現状維持が望ましい。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		52	社会教育主事等の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・資質向上のため各種研修会に参加 ・社会教育主事資格取得の該当者なし <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習事業の質の向上のため、多くの住民を巻きこめるようにコーディネート力の向上が必要である。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		53	高齢者教室交流事業	生涯学習	各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深める。	<p>・高齢者教室合同研修会・発表会を7月11日に開催。初めて場所を変えて実施した。(岸本公民館、農村環境改善センター、岸本小学校)今回初めて分科会形式の交流会を実施し、参加者に好評であった。(128人参加)例年と場所を変えたことによって参加者が減ったが、アンケート結果では、よかったという感想が概ね70%であった。がんばっている高齢者の姿を見ると励みになるという意見が多数あり、毎年この会を楽しみにされている方が大変多かった。</p> <p>・高齢者教室文集作成 町内4公民館の高齢者学級生が寄稿し、文集「だいせん」を作成した。(360部)</p> <p>・高齢化が進んでおり、発表会の出演団体、文集だいせんの執筆者が年々減少している。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		54	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	岸本公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。 また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。	<p>・松栄学級(高齢者学級)10回開催、学級生68名、延べ435名出席。・成人講座9回実施、参加者延べ123名・家庭教育支援講座「作ってみよう☆バルーンアート」を開催、参加者70名、親子のコミュニケーションを図った。・土曜日のお楽しみ「カブラで挑戦！」参加者65名</p> <p>・「参員数が減少し高齢化も進んでいるし、男性の参加者が少ない。・参加者を増やす努力をする。(例:アンケート結果を検討する。)・土曜日のお楽しみは実施回数を増やす。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				溝口公民館		<p>・貴寿美学園(高齢者教室) 町内外研修 計14回開催 延べ495名参加。高齢者へ他機関と連携して様々な分野から学びの場を提供し、生きがいや健康づくりと合わせ、他の公民館との交流促進を図った。また、未就学児対象の講座や親子で活動できる教室にも取り組み好評を得た。参加者アンケートでの振り返りは満足度が高い。</p> <p>・学園生の高齢化に伴い、会員は減少傾向にある。諸事情にて退会された方へも情報周知・広報を行ったため前年より一名増(76名登録)ではあるが、引き続き継続呼びかけを行っていきたい。学園生や住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していきたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
② 生涯スポーツ の推進				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・多々楽学園(高齢者教室) 町内外研修 計9回開催 延べ222名参加。高齢者の学びの場を提供し、生きがいや健康づくりを図ることができた。 ・女性学級 9回 延べ93名参加。成人女性を対象とした講座等を開催し生涯学習の場を提供し、会員相互の親睦を図るようにした。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・近年、学園生が高齢化し、新規入会者が少ないため、会員の減少傾向が続いている。入会を促す情報周知・広報が必要。小学校等の交流を図り、世代をこえた交流の機会を設けていきたい。 		
						<ul style="list-style-type: none"> ・日光学園:14回開催 延べ246名 学園生41名 介護教室2回 遺跡講演会等開催数増 ・ふるさと学級:先進地視察2ヶ所、正月の作品作り、しめ縄作り、料理教室2回 計6回開催 延べ65名 	○	
		55	社会教育委員及び図書館協議会委員	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会兼図書館協議会(年2回) ・生涯学習実践道場(7月4日) ・伯耆町合同研究協議会(11月26日) その他研修会へも参加いただいた。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		56	スポーツ推進審議会事業	総合スポーツ公園	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会のスポーツに関する諮問及び町のスポーツ推進に関する事項について研究協議を行う。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		57	スポーツ推進委員事業	総合スポーツ公園	<ul style="list-style-type: none"> ・委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を図る ・町内体育行事の運営、協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		58	スマイリースポーツクラブ支援	総合スポーツ公園	スポーツを通じて地域住民の健康増進・技術体力の向上を目的とする総合型スポーツクラブであるスマイリースポーツクラブの運営に必要な経費について補助金を交付し、活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブの独自事業及び受託事業として各種教室8事業、大会等5事業及び町内保育園やPTAなどへの指導者派遣を50回以上実施し、住民の体力向上やレクリエーションの普及に寄与した。また、ジュニアクラブとの連携により、多くの子どもたちに専門競技以外のスポーツ等を実施する機会を提供することができた。 ・クラブ運営についての検討（法人化等） ・会員増加に向けての企画立案。 ・町民への認知度を向上させるための広報活動。 ・指導者の確保及び指導者研修の充実 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		59	オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆補助事業	総合スポーツ公園	全国の小学生を対象にトライアスロン競技を開催するための事業費の一部を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年8月24日に20回記念大会として開催 大会エントリー者数は246名で昨年より5名増で県外参加者は昨年より11名増であった。大会史上初となる大雨の中での開催となったが大きな事故やトラブルもなく終了した。 ・参加者増に向けての取り組み強化。 ・事故が起きないように充分な運営体制を構築する。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		60	伯耆町駅伝	総合スポーツ公園	旧溝口町から実施されている1チーム5名による駅伝競走大会である。地元の絶大な協力をいただきながら、役員や参加者が一体となって運営されている地域に密着した大会として開催。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、悪天候により中止となった。 ・開催場所の検討 	●	未実施事業20%以下、
		61	町内体育施設管理運営事業	総合スポーツ公園	町内の社会体育施設である体育館・武道館・町民グラウンド・総合スポーツ公園・すこやか村や溝口中学校夜間グラウンド施設等の管理運営を行った。また、管理運営に必要な備品・機材を整備した。	<ul style="list-style-type: none"> 各施設利用者数(前年比較)中学校部活利用は除く ・社会体育施設(町体育館・町武道館・町グラウンド、すこやか村) 32,821人(+2,482) ・総合スポーツ公園 36,804人(-3,203) 社会体育施設は例年並みの利用者数であったが、スポーツ公園施設はB&G体育館以外の施設は昨年比利用者数が減少した。(施設管理機材購入) <ul style="list-style-type: none"> ・背負式刈払機 ・動力噴霧器 ・施設管理機材保守点検 ・利用者に対する利用時間の厳守・利用後の施設清掃等の徹底。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等			
						主な課題・改善方針等			
		62	伯耆町体育協会補助事業	総合スポーツ公園	<p>所属各部の運営、町スポーツ大会の開催等、スポーツ活動の中心的団体の支援</p> <p>・専門部運営補助(8団体) ・町民対象のスポーツ大会開催(8事業) ・スポーツ優秀賞・功労賞の表彰 ・郡体、県民スポレク等の大会参加</p>	<p>・マラソン大会の廃止及び駅伝大会が悪天候等により中止になった以外は、各大会とも大きな事故もなく予定通りに開催することができた。町民スポーツ活動の中心組織として、年間を通してスポーツ活動、大会運営に寄与した。</p> <p>・体協表彰(功労賞個人1名、優秀賞個人12名、団体1、特別賞団体1、個人1名)</p> <p>・県民スポレク等各種競技大会へ参加</p> <p>・体協組織や運営方法についての検討協議を実施</p> <p>・大会運営、体育表彰の主催者を町に変更するための協議検討を実施</p>	<p>・体協の役割や位置づけ及び運営体制の検討</p> <p>・部員の確保及び部員の管理方法の検討</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		63	体育施設改修事業	総合スポーツ公園	<p>快適な環境で運動できるよう体育施設の修繕等を行った。</p>	<p>(主な施設修繕)</p> <p>・岸本武道館屋根雨漏り修繕</p> <p>・海洋センタープール屋根雨漏り修繕</p> <p>・駐車場階段手摺設置</p> <p>・溝口武道館自動ドア修繕(施設備品購入)</p> <p>・町民グランドサッカーゴール</p>	<p>・施設の長寿命化に向けた修繕及び検討</p> <p>・施設管理方法(主に芝生管理)の研究実践</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		64	各種スポーツ団体補助事業	総合スポーツ公園	<p>伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町グラウンドゴルフ協会活動経費の一部を補助する。</p> <p>※町大会運営や郡、県大会等さまざま大会に参加されている。</p>	<p>生涯スポーツの普及振興また高齢者の健康や体力維持に寄与することができた。</p>	<p>今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継続的サポートが必要</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		65	地区運動会・ その他イベント 開催事業	岸本 公民館	町民総スポーツの中心的事業として運動会を開催し、子どもから高齢者までの参加により地域の連帯感、親睦を深めた。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会岸本地区大会を10月5日に開催し、27集落の参加があった。・開催要項を変更し、円滑な開催ができた。・新たに高校生のボランティアがあった。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	溝口 公民館			<ul style="list-style-type: none"> ・もう一度、役員の数や、物品の把握をする必要がある。・大会実施後の実行委員会で検討された事項を翌年度の大会に生かす。 				
				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会溝口地区大会 10月12日実施 溝口地区の町民のスポーツの中心的事業として開催し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める交流活動に寄与できた。今年度より課題解消策として「ふるさと選手」制度を導入した為、参加者も増え好評を得た。関係者評価を実施し、来年度への一層の充実を目指した。 ・課題解消に向けた取り組みを実行委員会を組織し進めたい。(課題:種目のマンネリ化防止、地域性のある種目の創設等) 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を立ち上げ、町民運動会二部地区大会を10月5日開催予定であったが台風のため中止。伯耆町マラソン大会(二部マラソン大会)は、教育委員会事業の見直しで取りや止め。 ・二部地区のスポーツ事業として、二部地区活性化推進機構主催によるグランドゴルフ大会、カローリング大会を開催し、健康増進・交流に寄与できた。 ・運動会について、自主的参加の促進と少子高齢化に対応する競技内容の検討が必要である。 		
				日光 公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・伯耆町駅伝:台風のため中止となった。 ・町民運動会日光地区大会:10月19日開催 天気に恵まれ和気藹々けが人もなく盛会であった。 ・人数チェックミスの為総合リレーで失格の組があった。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
2-(2) 町全体で取り組む青少年の健全育成	① 町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備	66	青少年育成伯耆町民会議運営支援	生涯学習	地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会及び部会(3回)の開催 ・青少年育成伯耆町民大会の開催(2月11日、参加者125) ・研修会開催及び派遣 ・町民あいさつ運動の実施(4回) ・高校生マナーアップさわやか運動への参加(4回) ・子ども・若者育成支援強調月間事業(2回) ・夏休み町内巡視の実施(4回) ・少年を守る店啓発事業 ・「家庭の日」標語の募集(応募数234点) ・家庭教育講演会、研修会の開催 ・通学合宿(10月、2組、参加者52) ・高校生ユースセミナーでのボランティア、交流事業など 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		67	成人式	生涯学習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、成人を祝福し激励する記念式典を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> と き:8月15日/新成人出席者105人 出席率77.8% と ころ:鬼の館 ・記念品贈呈・記念講演・記念撮影 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		68	通学合宿事業	生涯学習	「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。	<ul style="list-style-type: none"> と き:10月 5日～11日(A班)23名 10月19日～25日(B班)29名 と ころ:溝口中学校 寄宿舎(青雲寮) 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		69	高校生ユースセミナー	生涯学習	高校生が自ら事業を企画することで自主性、責任感を育て、他校の高校生と交流し、仲間づくり行い、地域で一緒に活躍する高校生の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・きないや祭に出店(11月16日、参加者8) ・スキー交流(2月1日、参加者11) ・親子ふれあいコンサートスタッフ(3月1日、参加者3) ・溝口彼岸市(3月21日、参加者5) 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の見直しを行いながら、町民会議委員及び多くの町民に関わってもらえる方策を検討する必要がある。 		
						<ul style="list-style-type: none"> ・新成人対象にふさわしい講師の選定が必要。 		
						<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果、事業効果は大きいですが、実施スタッフの確保が困難である。予算の確保などにより、継続実施できる方法を検討する必要がある。 		
						<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に計画立案し、活動できるよう促していく必要がある。 		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針等	
		70	読谷村教育交流	生涯学習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・27年度以降の事業を検討調整した。 ・27年度事業として、相互交流を実施することとなったため、詳細について協議検討が必要。 	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(3) 人権尊重のまちづくりの推進	① 人権教育・人権啓発の推進	71	人権教育推進事業	人権政策	人権教育推進を目的に、人権教育推進員を配置し、人権に関する諸問題を学び・理解していただくための各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 人権問題の学習啓発事業の企画運営及び学校等の要請に基づき、各種学習会を実施した。 ・ひまわりセミナー(11回) ・明るいまちづくり懇談会 ・人権啓発標語募集事業 ・その他学習会の実施 ・新たな人権課題に向けた事業の展開が必要。 	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	① 人権教育・人権啓発の推進	72	人権教育・啓発推進協議会補助金	人権政策	伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・活動を支援するとともに、各種事業を開催し、人権教育・啓発の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> (1)人権教育・啓発に関する調査研究及び実践 ・各種人権週間広報啓発活動 ・明るいまちづくり懇談会開催事業 ・明るいまちづくり懇談会事前研修会 (2)研修会及び講演会の開催 ・人権・同和問題実践研究交流会 (3)資料の刊行及び啓発 ・伯耆町人権だよりの作成・配布 (4)関係機関団体との連携 ・研究校の指定と授業研究会の開催 ・各種研修会・大会への派遣 ・各種団体の活動支援 (5)その他目的達成に必要なと認めた事業 ・「呼ぶ会」実行委員会の活動支援 ・協議会委員の協議により、各種事業の固定化の改善に努める必要がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		73	男女共同参画推進事業	人権政策	家庭並びに社会生活における活動等への男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画推進計画を基に、各種事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画審議会を開催し、第2次伯耆町男女共同参画推進計画の策定のための意識調査の項目を検討した。 ・本年度は、講師の都合等で職場研修を実施できなかったため、次年度は早期に計画実施したい。 ・意識調査に基づき、第2次伯耆町男女共同参画推進計画を策定する。 	△	継続事業ほぼ達成70%以上又は新規事業達成不十分50%以上
		74	町営住宅修繕事業	人権政策	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の要望に基づき老朽化に伴う小修繕を行った。 ・その他、ガス管の取り換え、リフォーム(2棟)、所有者のいない増設施設の撤去を行った。 ・今後も老朽化に対応した計画的修繕を継続し、住宅環境を維持していくことが必要。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		75	文化センター管理運営事業	文化センター	人権問題の解消と啓発に向けた事業の実施や地域住民の自立と、よりよい生活を図るため文化センターの核として活動に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区進出学習会：小学生 36回 98名参加 中学生 23回 102名参加 ・相談事業：随時。 ・各種教室：6教室 延べ87回 668名参加。 ・ミニデイサービス事業：ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として定着した。地域活動への参加につながり新しい仲間が増えた。延べ17回 349人参加。 ・百円ランチ：12回 190人。 ・交流研修事業：町内外からの研修を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めた。研修会7回 参加者185人。 ・その他児童館事業、講演会、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。 ・男性の参加がさらに増えるような事業内容の検討が必要 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
2-(4) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の創 造	① 文化財の保 存と活用	76	地域文化活動 の支援	生涯 学習	豊かでうるおいのある生活を創造するため、 芸術文化の振興・育成を図り、町内芸術文 化事業を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・第12回たそがれコンサート (8月30日・参加団体7、来場者約200) ・第10回伯耆町民音楽祭 (12月14日・参加団体10、来場者約260) 町内の音楽芸術の振興に寄与した。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・たそがれコンサートは、天候の影響を受けやすく、町 民音楽祭は、開催時期について配慮が必要。 ・小中学校の参加に配慮し、多くの方に出演・来場して いただける調整が必要。 	○	継続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ ぼ達成70%以上
		77	埋蔵文化財調 査事業	生涯 学習	開発に伴って事前に発掘調査を行い、埋蔵 文化財の有無や性格を確認し、事業者との 調整を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・大殿地区試掘調査 ・福島地区砂防堰堤建設工事に係る試掘調査 ・国道181号線道路改良工事に係る本調査 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・試掘調査時の作業員の確保と作業環境の整備が必 要。 	○	継続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ ぼ達成70%以上
		78	文化活動団体 支援事業	生涯 学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を 行ない、文化活動の振興に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行 い、後継者育成、演奏技術の向上等活動を支援 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・確実な事業計画の実施と、適正な支出を指導助言す る必要がある。 	○	継続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ ぼ達成70%以上
		79	文化財保護事 業	生涯 学習	本町にある指定文化財等の維持管理及び 地域の景観的な変遷を記録するための定 点撮影を行う。 国指定文化財 1件 県指定文化財 1件 町指定文化財 12件	<ul style="list-style-type: none"> ・県委嘱の文化財保護指導員による巡視 ・文化財周辺の草刈り・除草等の維持管理 ・文化財説明看板等の設置 ・文化講演会の開催(11月9日、参加者55) ・町内出土埋蔵文化財展の開催(2会場) ・町内遺跡見学会「子ども見学会」の開催 (9月27日、参加者6) ・文化財整理(3月27～31日) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財整理及び活用方法検討を実施することができ なかつた。 ・引き続き文化財を活用した事業を実施する。 	○	継続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ ぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		80	文化振興会補助事業	生涯学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数116人(平27年3月現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・総会及び文化講演会(6月1日、講師:生田眞氏、参加者62) ・視察研修(9月6日、広島県三次市、参加者29) ・文化展(12月6日～12日、写真美術館、来場者338) ・会報10号刊行(3月、全戸配布) 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		81	写真美術館管理運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真芸術・文化の振興に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真家 植田正治及びその作品について来館団体への説明を積極的に行い、作品や写真芸術への理解を深めるもらう取り組みができた。 ・年間説明団体 20団体415人 ・入館者は32,010人(対前年度比42%増) ・企画展3回、TV全国放送1回、その他雑誌掲載 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		82	写真芸術・文化振興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールを開催した。	<ul style="list-style-type: none"> ・財団の事業としてフォトコンテスト、ワークショップを行った。フォトスクールについても24講座 443名が参加した。町内小中学校に加えて、町内外の団体からの参加もあった。美術館職員の支援によりスムーズな運営となり、また、事業実施にあたって指導、助言を行った。 ・フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップとも参加者のニーズや運営の現状を把握するとともに、写真愛好者の底辺拡大のため宣伝活動を引き続き行っていく。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		83	写真美術館改修事業	美術館	写真美術館建物の外壁の汚れの除去と防水工事発注にむけた調査を行い、修繕工事を次年度に実施出来るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・開館から20年を経過した建物外観の改修と防水工事の調査・設計を行うことが出来た。 ・27年度に実施する工事の早期完了を目指す。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針等		
		84	地区文化祭・まつり開催事業	岸本公民館	<p>公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。</p> <p>実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。</p>	<p>・きないや祭り 11月15日～16日開催。</p> <p>・和太鼓コンサート 11月23日開催。</p> <p>・文化祭は、公民館教室・学校・保育所・個人の作品を展示。</p> <p>・行政展、青空市、農業祭、吉長市、フリーマーケット、こどもみこし、お茶席、ほっとカフェ、試食コーナー等の実施。</p> <p>・新たに、高校生グループに青空市へ出店してもらい、実行委員会にも入ってもらった。</p> <p>・商工会と役場青年部が撤退するなか、皆さんの協力で、何とか開催ができた。</p> <p>・小学校の作品展示に必要なパネル数を確認。・来年度は「岸本公民館まつり」として開催し、実行委員会の組織を見直す。・お客さんに楽しんでいただけるような、お祭りらしい催しを企画する。(例:豚汁等)</p>	○	<p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>
	溝口公民館			<p>溝口公民館祭 3月21～22日開催 天候的に恵まれ、また溝口地区彼岸市と重なったためたくさんの人出でにぎわった。広く町全体へ呼びかけた為、様々な世代からの文化的作品が寄せられ交流が深まった。参加者・実行委員からの評価をもとに、今年度の振り返りと来年度への充実を図った。</p> <p>各種同好会や教室の減少傾向がある中、広く町民から作品を募集することにより、一層町民の公民館まつりという意識化を図り、文化的交流の活性化を図りたい。</p>		○	<p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>	
	二部公民館			<p>第31回たたらまつりを 2月21～23日開催 延べ729名来館。地区住民・公民館教室生の作品展示、農産物販売、特別展示「年中行事」等を行い、交流・親睦を図った。来館者にアンケートを取り、今年度の振り返りと来年度の課題を洗い出した。</p> <p>・各種同好会が減少し一般の方の作品が減る中、広く作品募集を行い、住民の公民館まつりという意識化を図り、文化的交流の活性化を図りたい。二部地区の年間最大行事として、一層の充実を図る。</p>		○	<p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針等	
				日光 公民館	<p>ふるさと祭り 3月7日～8日開催 延べ340名 初日日光地区出身のサキソホン演奏会が盛況であつた。 2日目もフォークギターに合わせ飛び入りの歌で盛り上がった。</p> <p>新しく同好会を結成したフラワーアレンジメント作品が華やかであつた。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長及びPTA会長、スポーツ審議委員、学校支援地域本部地域教育協議会委員に送付し、無記名で意見書を返送していただいたものを掲載しています。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
1	伯耆町教育振興会事業・地域教育	<ul style="list-style-type: none"> ・保・小・中一貫に向けて町内の教職員の共通理解の場として有効である。 ・事業方針が「家庭教育力の向上」であるが、事業概要、主な成果等ずれがあるように感じます。 ・組織が肥大化して形骸化する傾向にならないように。例えば家庭教育調査結果を広報などで啓発することも必要では。土曜授業は中途半端な感じがする。実施するならもっと積極的であって可。 ・家庭教育の現状と課題の調査結果を各委員会にも報告していただくとよいのですが。 ・伯耆町教育を推進する原動力となる機関です。少しずつ行政の枠が取り払われつつある今日です。保・小・中が一貫した取り組みをさらに進め、その成果を町民に示してほしい。
2	家庭学習の手引き配布事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「手引き」を活用することで、学習の目安が持てる。この手引きを配布するだけでなく、どう活用させるかが課題。 ・家庭学習の手引き配布が目的となっていないでしょうか。活用がどれだけできているかを評価すべきです。また見直しは必要ないでしょうか。 ・「家庭学習の手引き」は各委員にも配布してはどうですか。 ・現在取り上げている小1から中3までを0歳児からに早めて編集し、母子手帳交付時や乳幼児健診時にも配布できないか。 ・手引きがあまり活用されていないのではないかと。活用しやすいシンプルなものにしてはどうか。 ・配布後の活用について一考を要する。各校で作成しているものとの整合性はどうか。 ・手引きの活用による成果の検証を。 ・小学校入学した時に頂いて、持ってはいるが目を通すことはないのかもしれない。でも配られた時に読んで「なるほど！！」と思ったことは覚えている。 ・各家庭に対して、活用の呼びかけができているか。一読して終わりになっていないか。小→中、保→小へ進学することに向けた内容で6年生、年長児クラスに配布した方が保護者にとっては参考になると思うが・・・。 ・作成して配布することが目的ではないはず、より活用しやすいものにするには、何をどう変更するのか、一番の利用者である保護者の声を、よく聞いて検討してほしい。また、手引きを活用した親の学びの場を設けたらどうでしょうか。 ・とてもよい冊子である。小学校入学前に配布し、入学に向けてよく読んでいただいていると思うが、それ以後は活用されていないと思う。活用方法について再検討が必要。
3	学校運営協議会運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、町内全小中学校で導入されると思うが、未実施校の教員への周知、研修が必要。 ・年々委員の意識が高まりつつあると感じています。この活動をいかに広めるかが課題。広報はその第一歩として大きな前進と思います。 ・様子があまりよくわかりません。 ・地域の核として学校が存在すると思うので事業を推進していただきたい。 ・制度の導入は進んでいるので内容の充実と、関係者の研修、事業の啓発に一層の工夫を。 ・中学校でも学校運営協議会が設置される。小中学校の連携・接続された教育を求めて、合同の協議会が必要と考える。 ・地域への働きかけにもっと力を入れていただきたいと思います。声掛けが少ないように思います。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		<p>・学校統合の問題等なかなか困難な点もあろうかと思いますが、伯耆町も全ての小中学校がコミュニティ・スクールになるようギアを上げてほしい。岸本小や八郷小、溝口小の取り組みの成果を他の学校にも広げてほしい。今後、コミュニティ・スクール化は加速していくものと考えられる。</p> <p>・各校、積極的に取り組まれているように感じている。</p>
4	学校支援地域本部事業	<p>・ボランティアの人材確保も大切だと思いますが、もう少しPTAの協力をお願いしたらと思います。</p> <p>・学校支援ボランティアの活用で、教育活動の場が広がり、学習内容も深みが増す。学校現場とボランティアとの思いの調整が重要。コーディネーターの役割がより大切になってくる。</p> <p>・ボランティアの活動が交流の目的となっているような気がします。(交流を否定するものではありません)そもそもボランティアの目的を確認する必要があるのでは。</p> <p>・この事業の取組みは、特に学校支援コーディネーターの配置等、たいへん良いので継続してほしい。</p> <p>・全国でも先進地である。これからはマンネリ化を防ぐ工夫が必要だと思う。</p> <p>・たくさんの地域の方々にお力添えをいただき感謝している。新規ボランティアの発掘は確かに必須課題である。</p> <p>・誌の暗唱—挨拶、暗唱、良く指導されている。家庭科のミシン使い、男性の先生だったが基本的なことをもっと教えた方が良い。ボランティアの助けを借りると良いと思う。</p> <p>・とてもすばらしい活動が展開されている。</p> <p>・学校側の地域の教育力活用について更に意識付けが必要では。</p> <p>・学校のニーズに合致したボランティアの募集が成されているか。</p> <p>・伯耆町の組織、運営体制は大変よい。伯耆町がめざす子どもたちの姿、確かな学力・人間力向上にどのように関わっているのか。さらに検証を進めてほしい。</p> <p>・支援ボランティア及び支援活動ともに定着してきている。子どもや教職員の意識の向上、活動の質の向上が課題である。</p>
5	子供の体験活動事業(公民館)	<p>・日光公民館との活動も子ども達にとって、よい経験となっている。日光は、全学年参加で毎年同じ活動が多いので経験を積んだ上級生が下級生のよい手本となっている。</p> <p>・日光地区の豊かな自然環境を生かした星空観察、デイキャンプなど休日や長期の休みを生かした体験活動はできないか。</p> <p>・各公民館が種々の施策を立てて、子ども達が多くの人々と交流し、協調性を図ることができたことは大変良いです。各公民館の取組みに感謝します。</p> <p>・参加者が固定されてきているように感じる。より広く参加者を募る工夫があれば良いが…。</p> <p>・夏休みを中心とした事業はいろいろ工夫されており、努力しておられると思います。公民館が子ども達にとって身近なもの、日常的に行ける所であればと思います。</p> <p>・地域で子ども達が活動している様子を学校側も時間を見つけ見学に行かなければと反省している。</p> <p>・長期休業中の取組みは活発なので、年間を通した活動を社会教育施設を活用して活性化を。(地域の特性を活かして)中学生対象、高校生対象の事業の開発を。</p> <p>・小中学生合同で、地域ごとの異年齢集団での活動を求める。</p> <p>・公民館教室の夏休み体験参加者が少ない。PRのやり方に一考を。</p> <p>・夏休みの事業を一冊の情報誌にまとめていることは、とても良いことだと思う。</p> <p>・町内の様々な方々や関係機関と、よく連携して事業が展開されているように思う。中学生や高校生をターゲットにした事業があってもいいのではないかと思う。</p> <p>・「夏休みのお楽しみ」で多数の講座を企画していただき、子どもたちも楽しみに参加している。今後も、新しい講座を取り入れながら継続していただきたい。</p>
		<p>・課題に記してあるように、学校の活動とは別に社会教育の部門での取組み充実を望む。</p>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
6	子供の体験活動事業(学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターを中心に地域とのやりとりがスムーズになってよいと思います。 ・地域の特色を生かした教育活動は大切である。が指導時間の確保をどのように行うのか課題である。 ・東北支援米栽培は一貫した活動を通して子ども達に様々な成果、教育が成されていると思います。(物づくりの大変さ。ボランティアの方への感謝、被災された方への思いやりetc) ・地域の特性を活かして自然・歴史・文化等に直接触れる創造的体験活動をプログラム化することは・・・。 ・各校独自の取組みで、地域の特性を生かす企画であるなら、地域住民の協力は不可欠であり、学校との共同作業は必要。 ・学校や地域の特色を生かした活動が、展開されているように思う。土曜授業とも連携してさらに体験の場を広げてほしい。
7	家庭教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業方針①の1,2との関連が不明です。 ・PTA指導者研修等、本町独自のリーダー養成を。家庭教育番組としてCATVで“子育て寺子屋”を制作して月1回でも放送したら・・・。 ・PTAの活動とうまく連携できていない。(P側の課題ととらえている) ・伯耆町がめざす家庭の教育力とは何か？保護者のどんな力を育てようとしているのか。保・小・中がどのように連携していこうとしているのか。さらに、これから親になる世代に何を学んでもらいたいのか。保護者の課題を踏まえながら計画してほしい。公民館との連携も重要かと考える。※実際に少しずつやっておられるように思うが。
8	授業改革ステップアップ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・8～10保・小・中一貫教育は、子供の数が少ない本町にとっては必要な事業だと思います。 ・今までの組織を生かしながら取組みが継続されている。 ・中学校区により成果に差が出ていると思う。 ・「保小中一貫教育」の取組みに期待しております。 ・小中一貫の動きが特に組織面において進んできていると思います。 ・保小中一貫教育の推進志向は必要であり、各々の接続部分を重視した活動(講演会など)は評価できる。 ・溝中、岸中校区での取組みに差異を感じるが、無理のない範囲で保小中で共通理解を図り、取り組んでいく。保育所の先生方からも意見がいただけるとありがたい。 ・具体的に見えにくい。家庭や地域も取り込んだ取組みにならないか。組織が多すぎではないか。、教育振興会での取組みは？ ・「保小中一貫教育」実施のための窓口として有効。 ・さらに一層の一貫教育の推進を望みます。
9	伯耆町教育振興会事業・研究推進	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい点まで教育委員会に指導・支援をいただき感謝。西小研とのかねあいで見直せるところがあれば見直しを。(スクラップ&ビルド) ・小中一貫カリキュラム作成委員会がスタートしたことは進歩だと思います。現場、教職の負担軽減は難しいと思います。 ・一貫カリキュラム作成、来年度の詳細版はなかなか大変そう。 ・小中の教員人事の交流など、核となる推進体制の構築を図り、組織的に対応することが必要。 ・教育の研究推進もちろん重要だが、「残業しない学校づくり」など教育委員会が、率先して負担軽減するような具体的実践が望まれる。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム作成は必要なことであり系統性を明確にできる。実技教科の重点項目をどのように選定するのか難しく感じる。 ・負担軽減になっているかは疑問である。今後の成果が期待されるとよいのだが。 ・小中一貫カリキュラムが出来つつある。有効な活用が課題である。
10	伯耆町教育振興会事業・就学支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要8,9,10はいずれも同じで具体性に乏しいと思います。 ・交流や情報交換でなく家庭訪問の充実など出かける指導が必要では。 ・保育所年長児についての情報交換、保小交流等の実践が行われ、入学に向けて取り組みが充実している。 ・保小中の交流活動が積極的に行われている。「個別の支援計画」の引き継ぎ、活用も定着してきたように感じている。
11	確かな学力定着促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大変良い取り組みです。大いに期待しております。 ・引続き、事業の推進をお願いしたい。 ・学習支援員などの対策の成果が見えにくい。SC、相談員の充実策として、待ちから出向く指導の充実を。 ・講師謝金をいろいろな事業を通して予算立てをしていただいております。ありがたいことです。更なる予算増をお願いします。 ・学力向上のために、学校・地域・家庭が一体となった推進を望みます。 ・岸中地区では「教えて考えさせる授業」の授業スタイルが定着してきているが、学力定着へつなげる体制が、まだ確立されていない。
12	全国学力・学習状況調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・標準学力調査も含めた事業名の方が良いと思います。 ・学力状況の分析検討のほか、運動能力(新体力テスト)生活状況調査も運動させての対応が必要と考える。 ・改善策を数値化して具体的取り組みを。 ・分析結果を日々の指導に生かせるよう現場でも話し合い、実践化を図りたい。 ・調査の結果を学習指導の改善に、さらに活かしてほしい。 ・分析を行い、つまづき等の確認はなされているが、指導に生かす具体的な手立てがうていない。
13	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の要求に十分応えていただき、感謝しております。 ・パソコンのOSが古いため、昨年からのセキュリティ面を考慮しインターネットを利用できないので、こういった面は素早く対応していただきたい。 ・教育に関する整備面がとても充実しているので感謝している。有効に活用していきたい。 ・ICTを活用した教育の推進には、機器の導入とともに教員研修等、教師集団の力量向上も図る必要がある。 ・活用されていない備品等のリストは？耐用年数を経過しているものは計画的に更新してありますか？要望と予算化された額の割合は？ ・パソコン教室の更新が一向に進まない。児童の調べ学習ができず困っている。学力も低下したと思われる。この休み中にできるはずだが、とても心配している。併せて職員室のPC、各教室へのPC設置も検討していただきたい。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		<ul style="list-style-type: none"> ・iPadの活用が主流になってきている。早急に整備する必要がある。統合問題に一定の方向性が示せた今、存続する学校へのエアコン設置は急務である。
14	外国青年招致事業	<ul style="list-style-type: none"> ・これからは小学校でも英語の授業が始まるそうですが、そのためにも現在のALTの小学校派遣の回数を増やす計画はありませんか？ ・大変良い取り組みです。継続してください。 ・今後も継続をお願いします。 ・ALTの配置がとても有効である。継続配置を強く望む。 ・小学校にも週に1回来ていただき、外国語活動の時間を通して中学校の英語活動への素地づくりがなされていると感じる。 ・ALT業務から20年以上経過すると思うが、経費の割に効果があがっているのか疑問。中3で英検2～3級全員取得などの目標設定は如何。 ・小学校においてもALTの存在は大きい。単に外国語活動の先生ではなく、子ども達にとって国際感覚を身につけるよい機会となっている。 ・次の学習指導要領改訂に向けて、特に小学校の英語科授業の準備を進めていただきたい。
15	学校統合準備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で習う様々な授業は、やはりある程度人数がいないと効果が薄いのではないかと思います。そのためには少人数校の統合合併は必要だと思います。 ・統合がスムーズに進むよう今後もご支援いただきたい。 ・二部小統合への教育委員会としてのアプローチが弱いと思う。小規模・複式のデメリットをもっと訴えるべきと思う。 ・新小学校へのスムーズな移行を願っています。 ・子どもたちにとって、どのような学校の姿が望ましいか、しっかり見つめてほしい。
16	運動部活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・単町で教科種目を設定し、特色ある学校づくりに活かすことはできないか。(文化部も含めて) ・学年卒をこえた部活動等の成果向上には、継続的なトレーニングが必要であり、先を見通した複数年の指導者計画をたてる必要がある。 生徒数が減少していく中、部の存続や運営を検討する時期になっています。学校間での連携を視野にどうすれば生徒の願いがかない、部活動が運営できるのか、検討してほしい。
17	特別非常勤講師配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性を必要とする学習では、大いに助かっています。今後とも一層の支援をお願いします。 ・基本的には教師力向上を図り、定数枠での対応が必要では。 ・専門的知識を生かして児童の指導にあたっていただいている。児童が生き生きと活動している。 ・各学校の内申をもとに配置していただき、指導の充実が図れた。
18	伯耆町教育振興会事業・人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要、指標があいまい。 ・研修内容を各校で伝達することが大切。全教職員が共通理解を図ることで教育力は向上。 ・伯耆町人権教育基本方針、基本計画をとり込んだ取り組みを。 ・保小中をはじめ町教育委員会や文化センターとの情報交換のできる貴重な場となっている。 ・人権教育の指導内容について、町としての方針を再検討する必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育研究大会は全町1本となり、順調にすべりだしつつあると感じる。配布資料も多いので消耗品、印刷製本費などの予算化をしてほしい。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
19	人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・町内1校開催となり、町内教職員が一堂に介して研修できるようになった。午前中の保育所参観にできるだけ参加できるよう各校で工夫したい。 ・実践にふれる研究集会にも教師自らの体験を語り合える場に。 ・研究大会の運営にどんな課題があったのか不明なので、次に生かせないと思います。 ・一層の推進を望みます。
20	青雲寮管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も通学学習などの利用を考慮されるならば、炊事場を改築するなどの方策を検討されるべきだと思います。 ・小規模合宿施設、宿泊体験学習施設としての機能を充実させ、調理室の改善もしくは中学校調理室の開放を図り、クラス単位の宿泊体験を。 ・核家族、少子化が進むなか、集団的な生活体験の場は必要であり、セカンドスクールなど有効な活動は評価できる。(NO68)
21	伯耆町教育振興会事業・学校保健	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要があいまいです。アレルギー対応については、一定の進捗があったと思います。検証をお願いします。 ・保健・衛生・食育に関する実態調査で本町の課題を明確にして年次的に取り組むようにしては。(地域・家庭を取り込んで) ・アレルギー対応については引き続き、研修の必要あり。 ・アレルギー対応について改善されてきており、保護者も喜んでいる。今後も設備の充実を図り、対応改善をすすめていただきたい。
22	栄養教諭による食指導	<ul style="list-style-type: none"> ・22～25本町の場合、前々から地元産の食材を使用した学校給食が行われていたと思いますが、給食を通して食に対する感謝の気持ちを持ってもらう取り組みが出来ていると思います。 ・栄養教諭が急にやめられて栄養職員1人だったのは大変な負担だったと思います。 ・栄養教諭の継続した配置が取り組みを支えている。健康対策課の管理栄養士との連携が有効だった。 ・栄養士が1名になった時に、現場での混乱はなかったようで補助の人が、相当尽力されたと聞きます。どのような対応を考えられたかが課題になるのでは。 ・新規事業達成不十分50%の中身は？ 日常的食生活の改善について保護者啓発を！ 食物アレルギーの対応等、新しい課題の解決を。 ・全児童・生徒を対象とした一般的な内容とともに、運動部活動実施生徒への対応等、家庭と連携を図り、実際の指導も求める。 ・今年度は栄養教諭が月に一回学校訪問を行ってくださっている。保護者の試食会の時に啓発活動に力を貸していただきたい。 ・交流給食時の話がよかった。 ・今後も、さらに充実していくことを望みます。
23	学校給食施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な給食の提供に感謝します。 ・食物アレルギー対応を含めた施設設備の改善・点検をよろしくをお願いします。 ・事故もなく安全な給食提供に引き続き努力を。 ・食物アレルギーの児童・生徒への対応は充分にお願いします。
24	学校給食費補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納の方は改善が図られたでしょうか。 ・取組みに感謝します。 ・1食単価の助成でなく、米と牛乳は全額補助(支給)など目に見える助成を。 ・給食費保護者負担の軽減につながっている。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		・これも、伯耆町の子育て支援の一つでしょうか？
25	食材供給連絡協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り食材は、地産地消での取組みをお願いしたい。 ・県内産、町内産の食材使用率を増やしてほしい。 ・自給率を上げるため青少年健全育成の観点から、町の農政の取組みとして投げ出されたらどうでしょう。 ・生産者にも児童・生徒への食材を提供している喜びや教育に貢献している誇りが持てるよう給食を共にするなどされたい。その際は、栄養教諭との連携も必要。 ・地産地消の取組みがすばらしい。今後も継続をお願いしたい。 ・今後も続いて町内産使用をよろしくお願いします。 ・地産・地消のさらなる進展を望みます。
26	スクールソーシャルワーカー活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・26～33特別支援学級・不登校・いじめ、それぞれに対応するためには保・小・中が連携して支援なり、防止等を行う必要があると思うので、良い事業計画だと思います。 ・いじめ問題、不登校など問題行動を早期に発見し対応することが大切です。把握したこれらの事案はひとりの教職員がひとりで抱え込むことなく学校全体、教委等が連携して取組んでいただきたい。常に危機意識を持っていただきたいと思っています。(これらの事案は個人や1セクションで処理できないと思っています。) ・これからも学校と連携して支援を行ってほしい。 ・大変良い取組みです。大いに期待しております。 ・SSW活用ハンドブックを増刷し、教職員へ配布・活用してほしい。 ・児童をとりまく環境が複雑化するなかで専門的な立場からアドバイスをいただき助けられている。 ・来訪型支援でなく訪問重視でケースごとに直接対応できるよう日曜・夜間等の活動に重点を置いては？具体的成果の公表は？ ・SSW、SCともによく動いていただいています。今後とも一層の充実をお願いします。 ・SSWに学校の子どものことをよく理解していただいております。適切な助言がいただけるので感謝。 ・早い対応をしていただいている。
27	特別支援教育支援員配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・現場で貴重な戦力となっている。来年度もぜひ継続していただきたいと思います。 ・大変よい取組みです。 ・学習支援員の確保が大変ですが、今後一層充実できるようお願いします。 ・年々、児童生徒の厳しい実態が増加傾向にあり、ぜひとも支援員の継続配置をお願いしたい。 ・小学校在籍児童の進学先との連携など、接続された指導が必要。 ・対象児童等の対症療法的事業でなく、予防に力点を置くことはできないか。 ・ニーズはどんどん高まっている。今後も支援員の確保をお願いしたい。 ・是非、増員を。 ・配慮を要する児童・生徒が増えつつある今日、とてもよい事業だと思います。 ・内申に基づき、支援員配置をしていただき、指導の充実が図れた。
		・効果的な運用となりますように。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
28	教育支援センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・相談所来訪型でなく、佐賀大教育学部在籍学生が実践している対象者訪問型の支援が効果があるのでは(経費的にも) ・センターから学校へ出向いて支援をしていただき不登校傾向が改善された。
29	少人数学級実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導の効果は絶大、更なる推進に期待します。 ・少人数学級の評価(成果と課題)をお願いします。 ・少人数学級とともに複式解消にも継続して力を入れていただきたい。 ・複式学級での指導では、特に教科において子どもに負担をかけやすくなりますので、続いて複式解消の加配について配慮願います。 ・複式解消のための人員確保をお願いしたい。(校務分掌の負担軽減にもつながるため) ・少人数学級による成果を具体的数値で示せないか。例えば、実テ、学テの平均点など。 ・小学校だけでなく中学校も30学級になり、子ども達一人ひとりに目が届きやすくて良いと思う。 ・維持、継続を強く希望します。問題行動の対応に追われて、現場の教員が倒れていないのが一番の成果では。 ・とっても良い取り組みだと思います。しっかり成果を出していただきたい。 ・30人学級はとても必要なことであり、評価できます。
30	就学援助事業(要保護、準要保護)	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育下の援助だけでなく、進学等の生徒への一時的な入学金、授業料援助も必要と考える。 ・準要世帯の認定の厳格化を。(例えば、一人親家庭の実態調査など)
31	就学援助事業(特別支援教育就学奨励金)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を要する児童のいる家庭にとってたいへん助かっているはず。更なる支援が必要。
32	中学校区の児童生徒を語る会	<ul style="list-style-type: none"> ・小中の滑らかな接続のためにもより一層の充実を。 ・今、いじめ問題等の未然防止のための取組みは大変重要です。大いに期待しております。 ・日常的にどれだけ情報交換ができるかがネックになると思います。 ・定期的開催の意義は？ ・継続してほしい。 ・中学校区の実情によるが減らせる会合ならば、岸中校区も1回でよいのではないか。 ・大切なことだと思いますが、無理のないように連携工夫を工夫されたい。
33	就学支援検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時健診の学校負担を減らすこと。授業を削減して実施している現状を解消すべきではないか。 ・5歳児検診はとても大切。しっかり観(診)てほしい。 ・保護者との関係性をうまく築いていくことも必要。学校、関係機関、家庭のつながりがあってこそ有効に機能。 ・子ども達一人ひとりのことをしっかりと支えてくださっているがわかり心強く思った。 ・乳幼児健診情報の共有化と防止の目的は理解できるが、年々増加傾向にある実態への予防策の検討は？例えば、妊娠・出産・育児についての教育など。 ・実際に年長児や児童を直接観察することができ、参考になっている。 ・いい仕組みだと思います。とても重要なテーマだと思います。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		<ul style="list-style-type: none"> 支援を必要とする子に対して、入学前から関係機関が連携をとることは、とても重要なことです。しっかり連携がとれスムーズなスタートが切れています。
34	学校評価研修	<ul style="list-style-type: none"> 研修内容がよかったので、ぜひ継続を。 研修させていただきます。 各学校の評価シートの様式・記入方法・内容の統一化は図れないか。 評価に関する研修を評価委員と一緒に行うのは、管理職と委員とのよい共通理解ができてよいと思います。 現在、管理職が全員対象とはなっていますが、これでは学校運営が手薄になり、危機も感じます。参加対象について検討が必要です。
35	学校図書整備及び図書館司書配置	<ul style="list-style-type: none"> フルタイム勤務としていただいた職員は、貴重な戦力として力を発揮していただいております。 図書館職員は不可欠、配置の継続を。 労働条件(待遇等)を良くして優秀な司書を確保してください。 学校図書館職員の配置は児童の読書、調べ学習に大いに効果を上げています。8時間勤務になると更に効果が上がります。 各小中学校の図書館補助職員の勤務時間を6時間から8時間(1日あたり)に延ばしてほしい。 配置を継続してほしい。補助職員の出張について一考を要す。 電子図書、CD、DVD、インターネット等の現代的な媒体を活用した物的、人的活動に対応する環境が必要。 学校図書館に図書システムの導入を。各校所蔵の資料の有効活用、児童生徒の個人情報保護、貸出冊数の増加、蔵書管理の徹底などの利点が見込まれる。 図書購入予算の増額と町立図書館との連携を。司書による校内での読み聞かせ等、活動の活性化を。 図書館職員がフルタイムで働けるようにしてほしい。 大変助かっています。是非、継続を。
36	教職員研修会(全教職員対象)	<ul style="list-style-type: none"> 町教育振興会の研究大会は、いろいろな分野の教育関係者が集まっているので講演者の選定が難しいと思います。重点を設けて研修することを検討しては。 全職員に年間を通して1つのテーマを設定してレポート提出を求めるなど、個々の自主研修の場があってもいいが。 今年度の夏の研修会では、内容をつめこみすぎなのではないか。(報告者2名各15分間では時間に無理があるように思った。) 夏と冬、年2回の研修を継続してほしい。 今年度のねらいに沿ったものであれば、問題はありません。 休業中とはいえ、学校は多忙です。年に1回はどうでしょうか。
37	学校要請訪問、学校随時訪問	<ul style="list-style-type: none"> 校内研をはじめ、日頃から来校していただき感謝しています。 校内研、小中教研、ブロックなど、研修訪問が多すぎる。精選した研修、訪問を行い教師が児童生徒とより多く接する時間の確保を。
38	伯耆町教育振興会事業・生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 事業概要をもっと具体的にしてください。 机上の情報交換にとどまらず、地域・家庭に入り込んで実態にふれる指導を望む。 ゲームセンターへの立ち入り禁止について町内で同じ考えでまとまった。小中のつながりが深まっているのを感じる。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		<ul style="list-style-type: none"> ・ケータイ・インターネットに係る子どもたち向け、保護者向けの研修会をさらに進めてほしい。でないと、田舎といえども今後とんでもない問題が発生しそうな気がします。
39	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・負担といえば負担だが、年に1度は学校を見ていただき指導していただくことは重要なことだと認識。
40	小学校施設修繕事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を安心して使えるので感謝しております。 ・特に危険箇所は早急に修繕等早い対応をお願いします。 ・日光小体育館雨漏り・・・完璧には直らないのだろうか。気がかり。 ・耐震化工事に向けてお世話になります。 ・いつも素早く対応していただき感謝しています。 ・修繕を必要とするものは、次々と出てきますが、児童の安全に欠かせないものです。早急の対応をお願いします。
41	中学校施設修繕事業	
42	中学校施設耐震化等事業	
43	学校安全体制整備推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダーの配置は良いことです。町民の皆さんにもっとスクールガードリーダーの存在についてPRしてほしい。 ・子ども達の安全に気を配っていただきありがとうございます。 ・通学路とその周辺、子どもの様子について、よく意見交換ができ助言もよくしていただきました。
44	伯耆町教育振興会事業・学校事務	<ul style="list-style-type: none"> ・より有効な教材選定と使用について意識を高めることができました。 ・事業概要をもっと具体的にすべきでは。 ・共同実施の取組みが素晴らしいです。 ・学校事務の合理化に向け、日々努力されていることに感謝。
45	地区公民館の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化に伴って、ますます地区公民館の役割は重要です。大いに期待しております。 ・定例会等、各公民館を持ち回りで利用するなど、現場と結びつけた活動が必要。 ・公民館は新しい時代に即応した課題を見つけ出し、その課題解決のための学習材料の提供を。(例えば、時事問題、環境問題、地域課題など) ・社会教育(生涯学習)の施策として、公民館を中心に何を重点としていくのか明確にすべきだと思います。
46	図書館管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・待つ図書館から動く図書館へ(例えば、出前図書館など)
47	図書館振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・伊能忠敬記念講演会の様な事業をもっと増やしてほしいです。このことが引き金となり読書意欲・関心も高まります。音読教室は楽しく、高齢者にとって有効だと思います。もっと地域がその意識を広めていくとどうでしょうか。 ・最近図書館主催の事業が増えており、参加される人数も増えたのでは？ ・図書配送事業により、各施設での資料活用が進んでいるように感じる。是非、続けて欲しい。 ・学校の授業に図書館職員の方々に協力いただき、効果があったと思います。 ・町内の公共図書館と学校図書館をオンラインでつなぐシステムを構築していきたい。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		<ul style="list-style-type: none"> ・中高齢者等(新しい機器に不慣れな)紙媒体以外の利用の便も図る機会が必要。 ・おはなしのみり、月1回の保育所の訪問ですが、はじまりの時間が“ふたば”は時間厳守ですが、“こしき”はいつも遅くなる。 ・ブックスタートだけでなく、3歳の時にブックセカンドをされていて感心した。子ども、親にとっても良いことだと思う。 ・各年齢層毎に体験的な取り組みをなされており、すばらしいです。成果を大いに期待しております。公民館と図書館の連携も大切です。
48	伯耆町教育振興会事業・図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要をもっと具体的に書くべきだと思います。はたして研修の内容、回数が妥当なものだったのか検証願います。
49	生涯学習まちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・主な課題に書いてあることは、ぜひ検討をお願いします。 ・要求課題のみならず、必要課題を明確に提示して賢い市民を育てる主催事業の企画を。
50	鬼の館運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼の館を伯耆町文化の拠点として、もっと利用しやすいように修繕も含めて検討をお願いします。 ・貸館で終わらず、文化活動の自主企画を望む。施設の特色を活かした地域密着型の文化事業の展開を。 ・町の文化拠点。音響照明等について専属の職員を配置するなど対応してほしい。
51	青年の家管理事業	
52	社会教育主事等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育主事の計画的な養成と配置をすすめていきたい。 ・社会教育の専門職として必置を望む。町職員の計画的資格取得と在職者での有資格者を積極的に教育委員会に配置し活用を。 ・教職員の活用も検討されてはいかがでしょうか。
53	高齢者教室交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・53～54各公民館の高齢者学級は、最近参加人数が多少減っているとの事ですが、参加するのを楽しみにしている人もおられると思うので、これからも参加しやすい企画を考えて、続けて欲しいと思います。 ・事業のマンネリ化を防ぐためにも自主運営し、文集の投稿者が少なければ弁論大会を開いて、その原稿を文集にして配布を。
54	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの学習機会を提供していただき、地域の活性化、生きがい、人との交流に大変重要な役割をはたしていただいている。4公民館の連携を図って、共同で実施する学習がもっとあれば良い。 ・マンネリ化しているので教室で学習したことを地域活動で活用するなどできる内容で、資格認定制度等を取り入れ活性化を。(趣味・娯楽を地域のボランティアとして活用すること) ・学習者の成果発表や講座修了者の活用を図ることも必要。 ・高齢者学級への参加については、団塊の世代等、次の世代をどう取り込むかが課題ですね。
55	社会教育委員及び図書館協議会委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃感じている図書館への思い、読書の意義・情報等々を幅広く話し合い、有意義な会であると感じました。図書館活力が町民により効果的に広まったらよいと思います。 ・主体的会議に成り得ていないのでは。意見書が諮問・答申等、積極的な会議を望む。単なる事業の承認機関にならぬよう。 ・社会教育委員会と図書館協議会が兼ねているのは、本当にそれでよいのでしょうか。 ・社会教育委員の活動を周知するために、委員会の議事録等をHP上で公開していただきたい。諮問・答申だけではなく、委員さんからの各種提言もあってもいいのかなとも思う。
56	スポーツ推進審議会事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校にいればスポーツ推進のために動いておられることがよく伝わってくる。 ・年1回より中間での複数1回の開催、又は年度末より事業途中で、評価できる機会が有効と思われる。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
57	スポーツ推進委員事業	・スポーツ推進委員の方がどのような方か、あまり存じあげなくて申し訳ありません。
58	スマイリースポーツクラブ支援	・総合型スポーツクラブと連携されていることは注目でき、鳥取県のモデル町村とも考える。中学部活動、小学校クラブ活動との連携された活動がよりのぞまれる。学校下では少子化による集団的なスポーツが不可となるため。 ・会員制度なので法人化等、自主運営の方向で対応を。
59	オールジャパン・ジュニア・トライアスロンin伯耆補助事業	・子どもの数は少なくなっていますから、参加者増はなかなか大変だと思います。内容の充実や付加価値の検討が必要かも知れません。 ・観光事業とも連携させ、町の活性化とも運動できる。(ジュニア+保護者+指導者の参加が考えられる) ・スポンサー導入を検討して自主財源で運営可能な事業にし、施設等の提供を町で協力する方向で。 ・特色あるイベント。もっと盛り上げたい。 ・今後も継続して事業を推進されることを望みます。
60	伯耆町駅伝	・年齢構成・性別を考慮したチーム編成がなされ、町民一体となった活動となることがのぞまれる。 ・地元地域での協力により開催できているので、この方向で継続を。 ・秋の風物詩として定着しているため、変更の必要はないと思いますが、7
61	町内体育施設管理運営事業	・高齢者社会にあって中高齢者、女性の利用者の増大方策が求められる。 ・指定管理方式での民間活力が導入できないか。
62	伯耆町体育協会補助事業	・郡体、スポレクなど各競技団体が、児童生徒の引率や世話ができるようになると、将来的に総合型スポーツクラブとしても発展すると思います。 ・自主財源のない協会では、主体的活動ができないのでは。 ・スポーツ事業のほかレクリエーション事業へも拡大し、身体活動全体が活発になる方策が求められる。
63	体育施設改修事業	・岸本町民グラウンド使用後の整備のためにコートブラシ(大型のもの)が不足しているため、ぜひ購入してほしいです。 ・BGプールの通年利用化を検討してほしい。南部町のように、わずかなコースでも通年利用できれば児童の体力向上につながる。伯耆町で水泳大会があるのに上位入賞が少ない。立派な施設があるのに活用しきれしていない。
64	各種スポーツ団体補助事業	・ゲートボール、グラウンドゴルフに限定されているのですか。青年や少年、成人等への補助はありませんか。 ・補助団体の認定基準などを明確にして、基本は自主運営が原則では。
65	地区運動会・その他イベント開催事業	・無理なく楽しく参加できる企画が良いと思います。 ・運動会等イベント型活動のほか、スポーツ文化を拡大させた試み(スポーツ活動の写真展、絵画展、学校教育と運動させての作文など)がこれからの社会では必要では。 ・同じ地区の人と関わる機会も少なくなっているため運動会などで交流を持ち、親しくなるのも良いと思う。(でも参加したい人は限られていると思うが・・・)もっと参加しやすくするため、内容も検討しても良いかも・・・。(子ども競技を増やすと親も参加しやすい) ・実行委員会方式で継続を。 ・少子高齢化がますます進んでいる。運動会や各種イベントの内容をもっと工夫していただきたい。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
66	青少年育成伯耆町 民会議運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・町民会議の委員は充て職が多いので、委員になった人は活動量が増えます。事業の精選見直しが必要だと思います。 ・自主財源のない組織では主体的活動ができない。
67	成人式	<ul style="list-style-type: none"> ・H26成人式では、飲酒や私語など成人式にふさわしくない態度の成人がいて、残念に思うとともに教育者としての責任を痛感した。 ・式典を町で、祝賀会を実行委員会で行うなどの企画を考えてもいいのでは。 ・毎年思うが、夏の成人式はどうかと思う。成人の日に合わせて開催した方が良いのではないかと思う。 ・少子化・子育て支援の充実を考えた時、助産師会と連携して、親になるための準備をする場として講演会等を位置づけてもよいか？
68	通学合宿事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大変お世話になっています。スタッフ確保も難しいと思います。大山青年の家でセカンドスクール的に開催し、希望者でなく一つの学年全員が参加するような内容に変更してはどうでしょうか。 ・他校の児童との交流を楽しみにしている。実施スタッフの確保が難しいのも現実であろう。 ・事業効果は大きく、町民の要望も多いので、複数回実施する方向で検討するとともに、町P協、町教振も取り込んでの実施を望む。 ・現状ではスタッフの方が大変です。長続きしません。 ・スタッフとして町民会議の委員を活用したらどうでしょう？事務局のみなさんだけでは厳しいかもしれません。でもそのためには・・・？
69	高校生ユースセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生が地域活動に参加できる場づくりは、とても重要な施策だと思う。 ・町の青少年育成事業にメンバーとしてかわり、リーダーとしての位置づけを行うことで自覚と活性化を。 ・高校生の活躍を大きく期待するところです。 ・参加した子どもたちの仲間づくりが、できていけばよいですね。
70	読谷村教育交流	<ul style="list-style-type: none"> ・大変良い事業です。子ども達にとっては貴重な体験となり、今後の人生に生きてくると思います。 ・1年おきの相互交流なので、小中高生を派遣し受け入れるという方式に。青壮年、高齢者、スポーツ交流等、幅広く文化交流も。
71	人権教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題に対する町民意識調査を早急に行う必要がある。 ・人権教育に関する意識調査を行い、地域課題の明確化を。行政職員研修を充実して全職場、全事業に人権尊重の視点を。
72	人権教育・啓発推進協議会補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者養成のための県外研修派遣費の充実を。明るい町づくり懇談会の通年開催と事業評価、反省を次年度の糧に。
73	男女共同参画推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・意識調査も良いですが、テーマをしぼって具体的な取り組みを実施していけないでしょうか。 ・各種委員会の女性比率30%以上の確保を是非、達成すること。行政職員研修で意識改革を。町民アンケート調査で課題の抽出を。 ・男女共同参画推進計画は申し訳ありません。あまり認識がありません。
74	町営住宅修繕事業	<ul style="list-style-type: none"> ・20戸程度の町営住宅改築か、老朽化による廃止か、5ヶ年計画で対応すべきでは。
75	文化センター管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町民がどのようにして文化センターの活動をとらえているのか知りたいところです。 ・学校と文化センターが連携し合っ、子ども達に“力”をつけるために取組んでいく。保護者の思いを聞き、学習会の方向性をさぐっていく必要あり。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館とは違う活動の位置づけを。町全体の人権文化センターの核として事業精選をして、新しい人権課題も取り入れた事業の展開を。 ・地区進出学習会のあり方を検討していきたい。
76	地域文化活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・町民音楽祭を是非、町民の方にもっと会場に来てほしいです。せつかくの音楽祭、ちょっと盛り上がり欠ける気がします。 ・指導者研修等で、すそ野の広がりや深まりを。各種文化団体交流の場の提供を。 ・町にある音楽に関する団体が、いかに小学生・中学生・高校生を取り込んでいけるかが今後を左右すると思います。 ・子どもたちに本物の文化に触れる機会を、もっと持ってやってください。
77	埋蔵文化財調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘文化財の定期的公開を。
78	文化活動団体支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町を代表する太鼓の団体が、発展していけるよう支援はとても重要だと思います。 ・どちらかというとスポーツの方に力が入っている気がする。文化面での支援を強く希望する。
79	文化財保護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡からの出土品等をミニギャラリー展等を活用して展示してほしい。また、伯耆町文化財の常設展示棟(空室等を活用して)を検討してほしい。 ・町・県・国指定登録文化財の定期的公開を。巨木・銘木調査をして新規登録と保護を。
80	文化振興会補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術に関する活動の発掘・振興を。
81	写真美術館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもすばらしい企画をしていただきありがとうございます。 ・管理・運営は難しい面が多いと思うが、町の大事な財産として町内外に広くよびかけ活用してほしい。
82	写真芸術・文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトスクールはよい取り組みだと思います。 ・テーマを設定して町民写真コンクールを。 ・小中学生対象のフォトスクールの活用を増やしていきたい。 ・写真美術館を通して、多くの学びや体験の場が設けられていることは大変喜ばしい。
83	写真美術館改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・入口が、たいへんわかり難いと多くの見学者から言われます。 ・改修がほぼ終了？やはりきれいになると雰囲気が違う。集客率アップにつながるのでは？ ・リニューアルを期待しています。
84	地区文化祭・まつり開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館とも地元住民の意見を取り入れて、文化祭・祭りを実施されており、このまま継続して欲しいと思います。 ・各地域、各公民館の特色がよく出ている。関係者の工夫が感じられる。 ・テーマ性をもった地域課題解決型文化祭を。 ・二部地区のたたらまつりには毎年、楽しく見学させてもらっています。 ・それぞれの館で特色ある文化祭等が行われていることは、大変喜ばしい。

○その他教育行政全般についての意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長及びPTA会長、スポーツ審議委員、学校支援地域本部地域教育協議会委員に送付し、無記名で意見書を返送していただいたものを掲載しています。

<p>・日頃から教育に対する手厚い支援をいただいております。たいへん感謝しております。地域の核としての学校づくりに今後も力を入れていただきたいと思います。</p>
<p>・平成25年度の自己点検・評価シートの有識者の意見が平成26年度にどのように反映されたのかがわかるとよい。</p>
<p>・各事業のその年々の重点施策なり重点事項がよくわかりません。点検評価を行ったら、次年度の事業概要に反映されるべきだと思いますがどうでしょう。</p>
<p>・活気のある、夢のある、まちづくりをしていただきたい。</p>
<p>・保育所の園児、小学生の生徒、共にのびのびとやさしい子ども達に育っている。</p>
<p>・県下でも先進的な試みや活性化を図るなど活発な活動が、行われていることに敬意を表します。大都市の施策をまねるのではなく、地域の実態に応じた方策を図られることを期待します。</p>
<p>・子ども達一人ひとりのことを考え、いろいろ研修に参加されたり講演会など開催されているのを知り、一人の親として心強く思った。でもまだ町民に知ってもらえていない事や町民が参加しづらい事もあるのではないかと思います。それを改善し、いろいろ情報発信していけたら良いのではないかと思います。</p>
<p>・公民館等で、子ども達が集まるようなイベントは、インフルエンザなどが流行する時ではなく、春・夏・秋などが良いと思う。</p>
<p>・幅広く、きめ細かく取組まれていることに敬意を表します。目に見えない成果ですが、継続することで必ず結果は表れると思います。「教育の町・伯耆町」が名実とともに実践できるようテーマを特化して取り組むことが大切ではないでしょうか。(ex.スポーツ人口日本一とかカメラの所有率日本一とか、郷土教育発祥の町とか)</p>
<p>・町民の伯耆町教育に対する理解をあらゆる場を通して進めてほしい。まだまだ何をめざしているのか見えてこない。HPの活用は有効だと思うが、更新状況を見ると十分ではないように思う。</p>
<p>・平成27年度は、「伯耆町教育振興基本計画」の中間評価の時期に当たる。進捗状況をチェックし後半5年に生かしてほしい。さらに教育振興基本計画は伯耆町教育のこの10年間の基本となる施策なので、伯耆町ホームページのトップ画面でいつでも見れるようにしてほしい。</p>
<p>・様々な事業評価に、参加者の満足度とかアンケート調査の結果、町民の声など、可能な限り町民目線に立った評価をし周知してほしい。</p>

○報告書個別事業に対する教育委員の意見等

NO	事業名	意見内容
2	家庭学習の手引き配布事業	・家庭での学習、生活習慣の望ましい指標ができたことは素晴らしい。今後、内容の見直しも大切であるが、実態に応じた活用方法を常に検討して、より効果が上がるようにしてほしい。
5	子供の体験活動事業(公民館)	・休日や長期休業など、公民館活動での子どもの体験活動は重要である。学校と連携を取り、担任などから事業への参加の働きかけも必要に思う。
7	家庭教育支援事業	・就学前に講演会等の事業をすることは大切なことである。
52	社会教育主事等の育成	・社会教育主事の育成は、これからの町の教育力の向上に不可欠である。人材確保に努めてほしい。

○教育行政全般に対する教育委員の意見等

<p>・学校統合が町内小学校を岸本地区、溝口地区各1小学校にするという教育委員会の方針が予定どおりに進まなかったこと、最終的には特に二部小学校地域の賛同が得られず、溝口地区の統合ができなかったことを残念に思う。</p>
<p>・伯耆町教育は全般的にみて、評価すべき取り組みであると思う。今後、現状からの課題解消を進め、さらなる教育成果を期待しています。特に伯耆町内の小・中学校児童生徒は、比較的落ち着いて学習や諸活動に取り組んでいる。今後さらに学力の向上、運動能力の向上を目指してほしい。</p>
<p>・様々な条件がある中で、保育所職員から学校の教員は、献身的に子ども達を見てもらっている。褒めてあげたい。そういうことが今後の力になる。一方で、教員がいつまでも学校に残っているのはよくない。電気代等は町より支払いをしている。</p>
<p>・給食センターの取り組みが△がついているが、何回か給食を試食させていただいているが、おかずの質について、野菜をきざみすぎではないか。調理方法を考えるべき。それらを含めて食育をすすめてほしい。</p>